

恵みと真理のニュース



2013 年 7 月の四次 恵みと真理教会

韓国 京畿道 安養市 萬安区 安養 5 洞 458-5 / ☎82-31-443-3731 / www.gntc.net



【証】 信じ祈って喜びを得、神様に栄光を捧げました。

前回に続いて

また、高校入学する時、高校予習組の学生を集めることがあって申請をしましたが、教会の冬のキャンプと日程がかさなってどこに行くのが良いか葛藤しました。“若者を歩むべき道の初めに教育せよ。年老いてもそこからそれることがないであろう”（箴言 22:6）御言葉を考え学校の予習学習のことを諦めて教会の冬のキャンプに参加させました。予習学習も大事ですがまず教会のキャンプに参加して自分のビジョンのため祈り御言葉と聖霊の権能を受けキリスト教青年らしく生活をするのがもっと大事だと思って息子と一緒に決断をしました。主日には友達とテレビを見てパソコンも思い切りやりたいほうだいやる誘惑もありますがこれよりも主日に礼拝を捧げる姿を見ながら子供を見守り道を導いてくださる神様に感謝をささげました。

“「主 イエスを信じなさい。そうすれば、あなたも家族も救われます。」（使徒言行録 16:31）

御言葉とおりに完全に主を信じ捧げることに力を入れ実家と兄弟の救いのため続けて祈ったら 2008 年父が病床で先にイエス様を受け入れ 2010 年には母とお兄さんの奥さんまで救われました。ハレルヤ！！

その間、主のことだけ力を入れていた私に新しい心配と祈り課題が出来ました。長男が大学に入る時に経済的に大変で入学金を払えるか心配でした。

教会の奉仕を辞めて私も職場に通うか考えました。今まで信仰で様々な苦難を乗り越え忍耐し今日まで来ましたがこれからどうすれば良いかよくわからなくて平安がなくなりました。誰にも言えなくて一人で悩んである日、私も知らずに神様を恨みました。そうしている時、こんな私に失望し神様に悔い改めました。何よりもまず、神の國と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはみな加えて與えられる。（マタイ 6:33）御言葉を思いながら切に祈りました。子供の進学のため経済的な安定のため聖霊充滿のため主のことだけ力をつける環境になるため旦那と一緒に祈りました。神様がこんな私を哀れんでくださり恵みを与えてくださり問題を解決していただきました。息子は早く大学に合格するばかりでなく登録金の告

知書を見る瞬間驚きました。成績優秀奨学生で合格され登録金は心配しなくても良いようにしていただきました。

大学受験をまえもって私の家庭の事情をよく知っている担任先生からサンソン財団の希望の奨学生を集めているから可能性が低いですが一度申し込んで見ましようと言われて書類を出し息子と一緒に教会に行き切に祈りました。そして、区域の訪問のとき息子から“お母さん私、奨学生で合格しました。”と連絡を受けたとき全ての心配は雪が溶けるようになり

“ハレルヤ”神様に賛美しました。全ての家族も信仰も守りながら自分の所で奉仕して忍耐しながら祈ると喜びを得て神様に栄光を捧げました。たとえ、経済的には今も豊かではないが今日も神様に受けた全てのことを満足しながらいと高い神様の恵みと愛に感謝をささげます。危機と苦難に助けてくださり導いてくださるエベンエセル神を賛美します。“私と私の家はただ、神様だけ捧げる”と言ったヨホスアの告白のように神様に今日も祈ります。主が来られる日まで主がくださる全ての職分を今日も担える忠実な者になることを決心します。



【信仰コラム】 わが助けは、どこから来るであろうか。

”わたしは山にむかって目をあげる。わが助けは、どこから来るであろうか。わが助けは、天と地を造られた主から来る。”（詩篇 121:1,2）

人は一生の間数えきれない助けを受けてお手助けを与えながら生きて行くようになります。他人の助けを受けずに暮らすことが必ず良いことではないです。助けを受けることができれば喜んで受けなければなりません。しかし一方では人を助けることに積極的な生を暮さなければなりません。人がいただくようになる助けの中一番根源的な助けで最上の助けることは神様の助けです。

第一に、私たちが神様の助けの下に住んでいることを認識して感謝しなければなりません。神様に対する知識のない人は自分が神様の助けを受けて暮らしているという事実に対して全然分らないです。なおかつ神様に感謝する事と言うのはあることができないだろう。しかし人が空気の存在が分からないと言っても空気を呼吸するので生きて行くという事実が変わらないです。人が神様の助けが分からないと言っても神様の助けなしに暮らすことができないという事実も変わらないです。私たちが使うすべてのものが神様がくださった贈り物です。人間生存に必要な数え切れないすべての条件たちがすべて神

様から始まります。だから私たちは神様の助けを時々刻々で受けて暮らしています。重要なことはこのような事実を常に意識しながら神様に向けた感謝の心と感謝の表現をしながら生きて行くのです。

二番目で、神様を自分の助けにする者等には三種類の共通点があります。

1) 人より神様を恐れます。人が必ず持たなければならない恐れの中最高になることは神様を敬い畏れるのです。神様を恐れることを知らない人は悪魔を恐れます。患難や未知の明日に対してすぎるほど不安に思って恐ろしがります。人を恐れます。しかし本当に神様を恐れる人は事毎に恐ろしがることと恐ろしがらないのを正しく分別することができます。そして正しい対応をするようになります。

2) 人の言葉より神様の言葉を信じて従順します。神様の言葉に対する知識を得てその言葉を信じる者よりもっと賢明で恵まれた人はいないです。人の非難とあざ笑うことをものともせず神様の言葉を信じてよる人は神様の助けを着て救いを得るようになります。神様は人の言葉より神様の言葉を信じて従順する者のために権能の手を突き出して手伝ってくれます。

第三、神様の助けを仰望して望みながら切に求めます。

人は深刻な困難や苦痛にあうようになる時視野が細くなりやすいです。視野が細くなれば目の

前の事や、比較的ちょっとした部分に通る過ぎるようにとらわれすぎることによって判断を誤るようになります。このようなあやまちにぬけなければ当面した問題でしばらく目ははなして目を向けてもうちょっと遠くそして高い所を眺めなければなりません。いくら大きい山でも天地を造られた神様ののがわで見たら非常に小さな山に過ぎないです。問題の山を見た後に天地を造られた神様を眺めたら神様の助けを期待して助ける神様に切に求めるようになるでしょう。もし周りに助けた者等がすべて立ち去ると言っても神様は神様を仰望する者を去りません。天地を造られた神様は不変で永遠です。神様の助けを最上の資源にして望みながら切に求める者に神様が全能な手助けを突き出して適切な時に適切な助けを施します。

人は生きながらある日そしてどんな状況に直面して人の助けるには限界があることを知る時があります。困境に処して‘私の助けがどこから来るのか’と歎息する時が神様を皆さんの助けにすることができる一番良い機会です。不信者はこの時がイエス キリストを迎える機会です。それからは天地を造られたエホバ神様に切に求める時です。

「チョヨンモク牧師先生の信仰コラム ‘緑の牧場、清い川’ 本の語り中」



恵みと真理教会 チョヨンモク 牧師

すべての人が等しく持っているし避けることができない重大な問題はおよそ何種類で指折り数えることができます。そしてそれらはお互いに係わっているからもっと少ない数字で減らすことができます。ある方は罪の問題と指摘するでしょう。ある方は死の問題と言うでしょう。ある方は「なによりもこの世の中で毎日毎日生きることが最大の問題です。」と言いたい方がいるかも知れないです。そうです。戦争、天災地変、疾病、各種事故、経済危機などの脅威と無関係な人はいないです。今まで言及した問題外にも指摘する問題がもっとあるでしょう。ところでこのすべての問題と連携された筋書になる問題は二つです。今日の本文に記録されています。

第一は、神様が分からないで本質上の神様ではない者に奴隷になる問題です。

ガラテヤ人への手紙 4 章 8 節に記録されるのを “しかし今では神を知っているのに、否、むしろ神に知られているのに、どうして、あの無力で貧弱な、もろもろの靈力に逆もどりして、またもや、新たにその奴隷になろうとするのか。” しました。人々は事物の本質より外形にとらわれすぎて、実際ではない虚像にぶら下げられる弊端があります。これはサタンのずるい計略に属します。人々に最大の問題は本質上神様ではない者に奴隷になるのです。どんな品物を神聖視して仕えるとか木や石、日と月同じ自然物を神聖視して仕える人々がそうです。こんな形態の信仰を示して未開な信仰あるいは下等宗教と分類したりします。そこに比べていわゆる言う高等宗教で分類されるものなどがあります。長年の歳月の間に持続しながら体系化されて組織化された宗教たちです。しかしどんなに分類されたといっても実際は皆本質上の神様ではないものなどを仕えています。それらは神さまではないです。“偽り神々”です。人々がこのように “本質上の神様ではない者等に奴隷になることは神様が分からないからです。墮落したアダムの子孫たちは急速に神様が分かる知識を喪失しました。ノア時代に至ってはノアの家族たち外には神様を敬い畏れる者がいなくなりました。ノア洪水後にまた人々が盛んになったが神様に対して分からないのは同じでした。罪人になった人生自らはどんな方法でも神様をわかりません。神様が人間に自分を現わして分かるようにしてくださればこそ人が神様が分かるようになります。神様の作った万物が神様の存在を現わしています。万物を注意深く察するので創造主がいらっしゃったことは分かるようになってと言っても創造主が人間を救いのために何を計画して成すかを分かりません。

本質上の問題

神様がこれに関して何回も多くの模様に啓示なさいました。神様のイエスキリストのあがないを通じる救いを啓示なさいました。予言者たちを通じておっしゃったしその言葉を記録するようにして人生たちにくださいました。時が至ってイエスキリストが世の中へいらっしゃってあがないの死を死んで復活しました。イエス様がおっしゃった言葉と行ったことそして使徒たちを通じてくださった言葉たちが記録されるようにして人生たちにくださいました。記録された言葉はすべてが聖靈の感動を受けて記録されたのです。だから聖靈が私たちの心を開いて悟るようにしてくだされば聖書を通じて創造主が罪人を救援してくださる神様が分かって信じるようになります。天地万物を作ったイエスキリストによって罪人を救援してくださる神様だけが神様です。その外には人々が神さまで仕えることは本質上の神様ではない者です。それらは偶像です。その背後には惑う悪魔と鬼があります。本質上の神様ではない者等を神さまで分かって神様で仕えるのが人々が持った最大の問題で悲劇です。イエスキリストを信じる皆さんは大きい問題が解決されました。イエスキリストの神様だけが本当に神様で唯一な神様なのを信じる人は至極な福を受けたのです。

二番目は、本質上の怒りの子供になった問題です。

エペソ人への手紙 2 章 3 節に “また、わたしたちもみな、かつては彼らの中にいて、肉の欲に従って日を過ごし、肉とその思いとの欲するままを行い、ほかの人々と同じく、生れながらの怒りの子供であった。” しました。世の中には二つの種類の子供がいます。本質上の怒りの子供と神様の子供です。すべての人は本質上の怒りの子供です。人々は生まれから神様の怒りの下にあるから “怒りの子供” と呼ばれるのです。この怒りは神様の怒りです。神様の怒りは罪人を向けた怒りです。人は生まれながら罪人です。すべての人が罪人で生まれるようになる原因が聖書に明らかに啓示されました。人類の先祖アダムの犯罪によったのです。神様が禁じた善悪を知る木の実を食べることで犯罪者になりました。アダムはあらゆる人類の代表者です。アダムが人類の代表者になった原理によってアダムの子孫で生まれた私たちがすべて罪人になったがこの原理によって義人になる道が開かれています。人類の代表者でイエス様がいらっしゃったからです。イエスキリストが人間の罪をあがないをしようと世の中へいらっしゃいました。イエス様は父の神様のみ旨に完全に従順して十字架に釘つけられ死んで墓で復活しました。聖書は次のように驚くべき恵みの言葉を宣布しています。“もし、ひとりの罪過によって、そのひとりをとおして死が支配するに至ったとすれば、まして、あふれるばかりの恵みと義の賜物とを受けている者たちは、ひとりのイエス・キリストをとおし、命にあって、さらに力強く支配するはずではないか。このようなわけで、ひとりの罪過によってすべての人が罪に定められたように、ひとりの義なる行為によって、いのちを得させる義がすべての人に及ぶのである。すなわち、ひとりの人の不従順によって、多くの人が罪人とされたと同じように、ひとりの従順によって、多くの人が義人とされるのである。” (ローマ人への手紙 5:17~19)。イエスキリストを信じる人はアダムが代表者ではなくてイエス様が代表者になります。

そしてイエスキリストの義が私だちに転嫁されて義人になります。私たちが “本質上の怒りの子供” なのにイエスキリストを信仰によって “神様の子供” になったという事実がいくら不思議で驚くべきか何の言葉でもすべて形容することができません。怒りは審判をもたらします。死は罪人に審判の執行です。この世の中に住む間は執行猶予の期間です。審判は地獄の刑罰に処するのです。死んだ後にはまた機会がないです。どうしようが地獄だけは行ってはいけません。本質の変化はイエスキリスト中でばかり成り立ちます。罪をゆるし受けて刑罰を除き受けるようになる道は一つしかないです。イエスキリストを信じる道だけです。クリスチャンと言うのは本質が変化された人です。生まれかわって新しいいのちを受けた人になりました。新しい被造物になって新しい者になりました。このような変化は外形上の変化ではなく本質の変化です。“本質上の怒りの子供” が “神様の子” になる変化です。神様の子になった人は自分の霊が神様の子になったことを証言します。神様を “私の父の神様” と呼びます。良いものなどを経験して父なる神様がくださったことを感謝するようになります。そして皆さんが “そこで、あなたがたに言うておくが、神の霊によって語る者はだれも「イエスはのろわれよ」とは言わないし、また、聖靈によらなければ、だれも「イエスは主である」と言うことができない。” (コリント人への第一の手紙 12:3) と言いました。“もし子であれば、相続人でもある。神の相続人であって、キリストと栄光を共にするために苦難をも共にしている以上、キリストと共同の相続人なのである。” (ローマ人への手紙 8:17) と言いました。神様の子供には神様の怒りの代わりにキリストとともに相続人の身分が与えられます。サタンは本質を巧みに塗装します。偶像の背後にはサタンがあるように宗教多元株の団体の背後にはサタンがあります。本質は宗教多元主義なのに早い巧みに塗布して包装します。“愛、生命、正義、平和、一致” というキャッチフレーズで包装します。クリスチャンは最大限和平をはからなければなりません。しかし原則があります。人間関係で平和を得て神様と敵になるより人々から非難を浴びて蔑視にあっても神様が授けられた原則を守らなければなりません。

聖徒の皆さんは “神様が分からないで本質上の神様ではない者の奴隷になる者” ではないです。創造主が分かって救世主イエスキリストを信じる者になりました。そんなにして “本質上の怒りの子供” から “神様の子供” になる驚くべき変化を着るようになりました。聖徒の皆さんは福音を混雑する組織体の派手に包装された言葉と国際的な巨大な規模の行事に目が眩まないように気を付けなければなりません。“本質上の神様ではない者” をあらゆる方法で飾っても神様であることはできません。“本質上の怒りの子供” をあらゆる方法で包装しても神様の子供にならないです。聖書は聖靈の感動することを受けた人々が神様に受けて記録した信仰と行為の絶対的基準であり、イエスキリストだけが救い主という信仰を持った人は福音を混雑する団体と手を握るとか彼らを美化する事ができません。いつも相変わらずイエスキリストの神様を信じて愛しながら仕える聖徒の皆さんに神様の恵みがあふれて臨むようお願いいたします。